



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1135 2018 年 8 月 27 日

ARIBからのお知らせ

標準規格等の英語翻訳版電子ファイルの公開について

新たに3件の英語翻訳版を公開しました。

【通信分野】

規格番号等		標準規格名等
STD-T106	1.1 版	構内無線局 920MHz 帯移動体識別用無線設備
		920MHz-Band RFID Equipment for Premises Radio Station
STD-T107	1.1 版	特定小電力無線局 920MHz 帯移動体識別用無線設備
		920MHz-Band RFID Equipment for Specified Low Power Radio Station
STD-T108	1.2 版	920MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備
		920MHz-Band Telemeter, Telecontrol and Data Transmission Radio Equipment

※「英語翻訳版」は、標準規格又は技術資料の正本から英語に翻訳されたものであることを示します。正本と翻訳版との間に内容、表現等に何らかの相違点があった場合は、正本を優先します。

ARIBの動き

自営無線通信調査研究会 第13回会合を開催

自営無線通信に関係する行政、学識経験者、メーカ、ユーザが集まり、自営通信を取り巻く内外の技術動向、利用動向などについて調査し、自営無線通信の高度化について検討する「自営無線通信調査研究会」の第13回会合が約50名参加し、8月7日に開催されました。本研究会は今年度から2年間延長することとなり、本会合はその第1回に相当します。

第13回会合においては、まず総務省 電波政策課 堀口課長補佐より最新施策動向として現在パブリックコメント募集中である「電波有効利用成長戦略懇談会報告書案」について、公共

用周波数の有効利用方策をはじめとして報告書案全般に渡り詳しい説明を頂きました。

相模女子大 湧口副委員長からは「5G時代に向けた欧州の電波利用政策の変化」と題して、欧州の電波政策研究者も招いて開催された5G時代における電波利用制度等に関するワークショップやシンポジウムの模様について報告がありました。

三菱電機 山崎様からは、「鉄道無線に関するWRC-19の動向」として、WRC-19に向けてのITU-Rにおける鉄道無線に関する検討状況、各国の主張等について説明がありました。

NTTドコモ 勝山様からは、「200MHz帯LTE通信システムフィールド試験報告」として、LTE方式を200MHzVHF帯で運用できるシステムの有効性と共に、災害時を想定した規制中でも一般端末に対し優先端末の通信が確保されること等の確認ができたとの報告がありました。

4名の方からの多岐にわたる説明・報告内容に対して、電波政策、国際動向、LTEなどの無線通信技術、公共無線システムの共用問題等いろいろな観点から多数の意見、質疑応答があり活発な意見交換が行われました。

本研究会では、今後も引き続き、自営無線通信を取り巻く政策動向や技術動向について調査研究を進めていく予定です。



自営無線通信調査研究会 第13回会合の様子



総務省電波政策課
堀口課長補佐



相模女子大
湧口副委員長



三菱電機
山崎 様



NTTドコモ
勝山 様

「第3回 LTE/5G を活用した コネクテッド・ビークル ワークショップ」を開催

ARIB 高度無線通信研究委員会モバイルパートナーシップ部会 LTE-V2X 対応 AH、5GMF 5G Connected Vehicle AH、および ITS 情報通信システム推進会議 高度化専門委員会セルラーシステム TG の共催により、「第3回 LTE/5G を活用したコネクテッド・ビークル ワークショップ」を8月20日に開催しました。

本企画は、本年3月に開催した「第2回 LTE/5G を活用したコネクテッド・ビークル ワークショップ」に引き続き、LTE/5G V2X 関連の3GPP 標準化状況のアップデート、実証実験関連の最新動向と取り組み状況の把握を目的として各専門家にご講演頂くと共に、主要課題と今後の進め方についてご意見・ご要望を含めて共有しました。

1 ワークショップ名称：

「第3回 LTE/5G を活用したコネクテッド・ビークル ワークショップ」

2 日時：8月20日（月）14:00～17:00

3 場所：ARIB 1、2、3 会議室

4 主催：

ARIB 高度無線通信研究委員会モバイルパートナーシップ部会 LTE-V2X 対応 AH、5GMF 5G Connected Vehicle AH、及び ITS 情報通信システム推進会議高度化専門委員会セルラーシステム TG の共催

5 参加者数：約 150 名

6 主な内容：

ITS 情報通信システム推進会議高度化専門委員会副委員長 浜口 雅春氏の開会挨拶に続き、総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室 中里 学 室長よりご挨拶を頂きました。

ITS 情報通信システム推進会議高度化専門委員会セルラーシステム TG 主査、5GMF 5G Connected Vehicle AH 主査 中村 武宏氏のワークショップ概要説明と進行により次の講演が行われました。



浜口 雅春 氏



中里 学 氏



中村 武宏 氏

(1) 3GPP LTE / 5G-V2X 標準化最新動向

ARIB モバイルパートナーシップ部会 LTE V2X 対応 AH 主査の永田 聡氏から、3GPP における V2X (Vehicle to everything) に関わる標準化の検討状況として、Cellular V2X に関わる Phase 1 (Rel-14 LTE) ユースケース、5G NR (New Radio) の標準化検討状況を踏まえた Phase 2 (Rel-15 LTE) から Phase 3 (Rel-16 NR) に向けた NR V2X 標準化議論状況と、端末間通信・マルチキャスト・低遅延化・測位・モビリティ等の LTE/NR V2X に関わる要素の標準化のトレンド等が紹介されました。



永田 聡氏

中山 典明氏

吉野 仁氏

岩村 幹生氏

(2) KDDI のコネクテッドカー向け実証実験

KDDI 技術企画本部コネクティッド推進室 中山 典明氏から、クルマ (自律系) と通信の相互連携例やサービス拡張の期待等を踏まえて、KDDI の一斉同報配信の実証実験内容が紹介されました。自律系や車車間通信では届かない遠方・見通し外の情報や同一エリアの複数車両に有用な情報の一斉同報による効率的な配信、車両が通信する LTE 基地局位置情報を GPS の位置標定補強信号として配信、等を想定した実証を北海道豊頃町にて実施しており、実験風景や今後の展開等が紹介されました。

(3) 5G V2X 実証実験 (Softbank)

ソフトバンク先端技術開発本部先端技術研究部 吉野 仁氏から、総務省 5G 総合実証試験のひとつ (Group V) である 5G のトラック隊列走行への適用に関する実証試験について説明を頂きました。ユースケースとして、1) 車両制御と後続車周辺ビデオ監視、2) 車両の遠隔監視・遠隔操作、について、車車間通信 (V2N2V: 基地局経由)、車車間直接通信 (V2V)、車対 NW 通信 (V2N) の各通信形態を想定してフィールド試験を実施しており、得られた V2N 往復伝送遅延試験結果や性能評価に関するグラフ等を用いた説明や、遅延に関わる 5G と 4G LTE との比較デモ画像等が紹介されました。

(4) LTE/5G V2X 実証実験 (NTTドコモ)

NTT ドコモ 5G イノベーション推進室 岩村 幹生氏から、NTT ドコモの LTE/5G 実証実験について説明を頂きました。技術特徴やリソース効率を考慮した 4 つの実現・運用モデルについて、ユースケースに応じた使い分けを行うべく、「セルラー V2X トライアル (6 社、2018.1~)、V2N アプリケーション実証実験における End to End 100ms 以下の遅延の実現 (LTE)、富士スピードウェイでの高速移動実験や、超高速移動環境 (時速 300km) での 5G 無線通信実験、東京臨海副都心や東京スカイツリータウン周辺

での「5G トライアル(パートナー連携、2017.5~)等各種実験を重ねている旨紹介されました。

各講演に引き続き、中村 武宏氏より、主要課題の今後の進め方について提案があり、本ワークショップの議論を年度内に取りまとめるべく、次回12月及び来年3月に本ワークショップの開催を計画すると共に、12月に向けてセルラーシステムTGでたたき台資料を作成する旨、確認されました。

当初の予定を超える受講申込みを頂き、参加者数約150名の盛況なワークショップとなりました。各講演の後には多数の質疑応答が行われ、検討すべき主要課題や今後の進め方についても、活発なご要望、ご意見が寄せられ、Connected Vehicleの今後の進展に対する強い関心と期待がうかがわれました。



提案説明される中村 武宏 氏



ワークショップの様子

気象レーダー調査研究会 第1回会合を開催

8月21日(火)、気象レーダー調査研究会の第1回会合が、一般社団法人電波産業会の会員企業とオブザーバとして総務省、国交省他の方々、総勢26名を集めて開催されました。

防災インフラの一翼を担ってきた気象レーダーについては、地球温暖化によるゲリラ豪雨等の強雨現象の増加に伴う的確な観測ニーズに応えるため、各種気象レーダーシステムの標準化により、気象レーダー同士あるいは他システムとの共用も図りつつ、目的に応じた様々な気象レーダーが広く普及することが重要であります。このため、この調査研究会は広範なユーザーニーズや利用形態を調査し、各種気象レーダーシステムの最適周波数帯の明確化及び技術要件

の検討を行うことを目的として設立されました。

第1回会合においては、委員長として首都大学東京 教授の牛尾様と、副委員長として(株)東芝 技術・生産統括部の和田様を選出され、和田様より気象レーダーに関する今後の進め方についてご説明を頂き、調査研究会の今後の方針・課題について中心に議論が交わされました。



気象レーダー調査研究会 第1回会合の様子

テラヘルツ調査研究会 第4回会合を開催

テラヘルツ波通信／センシングシステムの早期実用化に向け、開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査研究することを目的とするテラヘルツ調査研究会の第4回会合が、8月21日に開催されました。

第4回会合においては25名が参加し、WRC19に向けたテラヘルツ帯近傍の周波数割当て状況の共有を行うとともに、予め選定したテラヘルツ通信の代表的ユースケース2種のうち、「チップ間・ボード間通信」においてはビジネス化に際しての訴求点と問題点の整理について、「ドローン・地上間通信」においてはテラヘルツ通信導入の優位性が期待できそうなより詳細なユースケースの絞り込みについて、それぞれ熱心に討議され、次回会合に向けた課題の確認が行われました。次回会合は10月上旬に開催予定です。

第160回電波利用懇話会を開催 ARIB,NICT 共催「欧州標準化動向 ETSI の活動紹介」

8月24日（金）に、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)との共催で第160回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、NICT イノベーション推進部門の釧吉 薫 参事を講師にお迎えし、「欧州標準化動向 ETSI の活動紹介」と題してご講演いただきました。ご講演では、講師のETSI(欧州電気通信標準化機構)での長年にわたるご経験に基づき、欧州の標準化動向とETSIの委員会、ISG(Industry Specific Group)等の活動状況について詳しくご説明いただきました。

当日は、65名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、ISGのしくみやETSIのメンバ構成、投票のしくみなどに関し、活発な質疑応答が行われました。



第160回電波利用懇話会の様子と講師の鉦吉様

今週の ARIB 内会合（8月27日～8月31日）

- 8月27日（月）：スタジオ設備開発部会 評価シーケンス作業班
8月28日（火）：スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班
8月30日（木）：スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班

今週の国際会合（8月27日～8月31日）

- 8月20日（月）～ 8月29日（水）：ITU-R TG5/1#6（スイス ジュネーブ）
8月27日（月）～ 8月30日（木）：SET EXPO 2018（ブラジル サンパウロ）
8月29日（水）：SBTVD-DiBEG 意見交換会（ブラジル サンパウロ）
8月30日（木）：ISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合（ブラジル サンパウロ）

総務省からのお知らせ

「宙を拓くタスクフォース」の開催及び宇宙利用のアイデア追加募集 【平成30年8月7日発表】

総務省は、「宇宙利用の将来像に関する懇話会」の下で、新たに「宙を拓くタスクフォース」を開催します。本タスクフォースの開催に先立ち、宇宙利用における長期的な将来像及びそれを実現するための情報通信技術に関するアイデアを平成30年9月14日（金）まで追加募集しています。

詳細については[【平成30年8月7日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

平成 11 年郵政省告示第 776 号（放送法施行規則第七十六条第五項第四号の規定に基づき、総務大臣が別に告示するときを定める等の件）の一部を改正する告示案に係る意見募集

【平成 30 年 8 月 10 日発表】

総務省は、平成 11 年郵政省告示第 776 号（放送法施行規則第七十六条第五項第四号の規定に基づき、総務大臣が別に告示するときを定める等の件）の一部を改正する告示案を作成しました。

当該改正案について、平成 30 年 8 月 11 日（土）から平成 30 年 9 月 14 日（金）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【平成 30 年 8 月 10 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

関係団体からのお知らせ

IoT サイバーセキュリティシンポジウムの開催

一般社団法人 セキュア IoT プラットフォーム協議会（理事長 辻井重男）では「IoT サイバーセキュリティシンポジウム」を下記により開催することとしていますのでお知らせします。

セキュア IoT プラットフォーム協議会及び中央大学研究開発機構は総務省の委託研究を受け、IoT デバイス認証基盤の構築等の研究開発を始めており、政府の動きでは内閣サイバーセキュリティセンターでは平成 30 年 7 月 26 日に「サイバーセキュリティ戦略」を更新し、総務省ではこの 8 月からサイバーセキュリティ関連の部署を強化しております。

本シンポジウムではそれらの関係者である、総務省サイバーセキュリティ統括官 竹内芳明氏、内閣官房内閣セキュリティセンター副センター長 三角育夫氏を招いて基調講演が行われるほか、産官学の有識者を集めたパネル討論も予定されております。

開催日時： 平成 30 年 10 月 2 日（火） 10：00～17：30
（18:00 より交流会が開催されます）

開催場所： 早稲田大学国際会議場

主催： 一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会
NPO 知的社会システム研究開発機構

共催： 早稲田大学 先進理工学部・先進理工学研究所

後援： 総務省、経済産業省、文部科学省、NPO デジタル・フォレンジック研究会、中央大学研究開発機構 他

参加費： 1,000 円

申込み先： <https://iotcss.com/>

詳細については [IoT サイバーセキュリティシンポジウム Autumn2018 実行委員会ホームページ](#) (<https://iotcss.com/>) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp